

承認番号 RD 5807-118

文書番号 11058171

平成 23 年 5 月 12 日

JIS A5548 に基づく試験

ME-01 試験成績書

株式会社タイルメント

技術開発センター

1. 目的

「ME-01」の JIS A5548 に基づく試験を実施した。

2. 試験項目

JIS A 5548 タイプ 試験

3. 供試材料

被着材: 陶器質タイル (40 角に切断して使用)

下地材: モルタル板 (70 × 70 × 20mm)

モルタル板は JIS A 5548 に基づき水中浸せきし、ウエスを用いて表面を軽く拭いた後、以下の試験に供試した。

4. 試験方法

JIS A 5548 タイプ 試験

(1) 接着剤の塗布

標準状態(23 ± 2 、50 ± 10%RH)において、下地材に接着剤適当量をのせて、へらを用いて厚さ3mm 程度に塗布した後、プラスチック製クシ目ゴテ(幅 × 高さ × ピッチ: 3 × 3 × 6mm、U ノッチ)を角度約 60 ° に立てて均一になるように塗布し、20 分間の待ち時間を取った後、被着材を下地材の中央に静かにのせ、その上に 1kg のおもりを約 30 秒間のせて圧縮し、試験体とした。

接着剤は A 剤 : B 剤 = 1 : 2 の割合で測り取り、へらで均一になるように攪拌したものを使用した。

(2) 試験体の養生条件および処理条件

標準 : 標準状態で 168 時間養生。

温水 : 低温(5 ± 2) 雰囲気中で 168 時間養生した後、
50 ± 2 温水中に 24 時間養生。

アルカリ水中: 標準状態で 168 時間養生した後、
水酸化カルシウム飽和溶液中に 48 時間養生。

低温硬化 : 低温雰囲気中で 840 時間養生。

熱劣化 : 標準状態で 168 時間養生した後、
60 ± 2 高温乾燥雰囲気中に 672 時間養生。

(3) 測定

テンシロン万能材料試験機 RTF-1350 を使用し、変位速度 3mm/min での単軸引張試験を行った。(図 1、2)

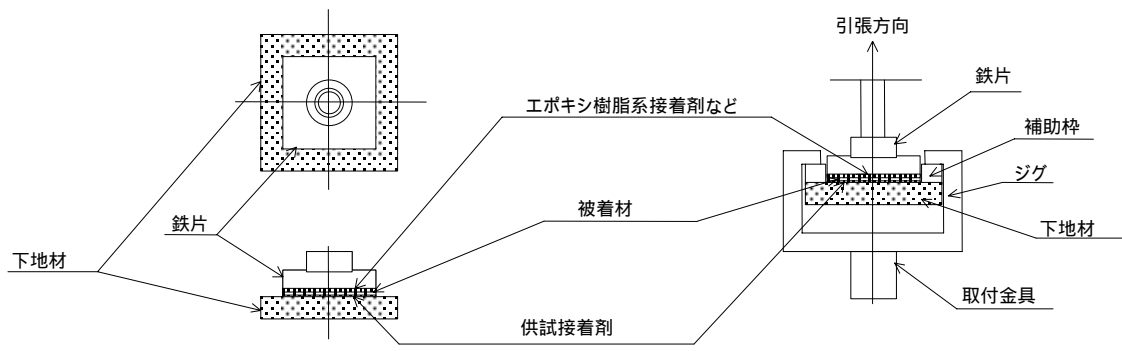


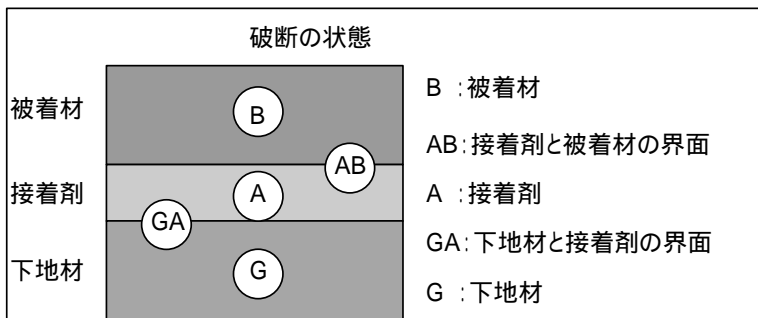
図 1

図 2

5. 試験結果

JIS A 5548 タイプ 試験

養生条件		接着強度	破壊状態
		N/mm ²	%
標準 JIS 基準 :0.588N/mm ² 以上	1	1.46	A50GA50
	2	1.54	A10GA90
	3	1.55	GA100
	4	1.58	A5GA95
	5	1.75	GA20G80
	ave.	1.58	
低温硬化 JIS 基準 :0.294N/mm ² 以上	1	2.15	AB5A5GA90
	2	2.03	AB5A20G75
	3	2.24	AB20A50GA30
	4	1.70	AB10GA90
	5	1.98	AB10A5GA85
	ave.	2.02	
温水 JIS 基準 :0.294N/mm ² 以上	1	1.05	AB95A5
	2	1.17	AB95A5
	3	1.05	AB90A10
	4	1.10	AB100
	5	1.19	AB95A5
	ave.	1.11	
アルカリ水中 JIS 基準 :0.294N/mm ² 以上	1	1.23	AB10GA90
	2	1.15	AB5A90GA5
	3	1.17	A95GA5
	4	1.01	A40GA60
	5	1.22	A90GA10
	ave.	1.16	
熱劣化 JIS 基準 :0.294N/mm ² 以上	1	2.76	AB10A85G5
	2	2.37	A50AB5A40GA5
	3	2.51	AB10A60GA30
	4	2.75	AB15A85
	5	2.95	AB10A50GA40
	ave.	2.67	



注) 接着強さは数値以下でもその破壊位置が下地材料、または仕上材料であれば合格とする。

6. 考察

試験結果より、ME-01 は十分な接着性能を有している。

本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。